

産業振興に取り組む上での課題

（第6草津市総合計画・草津市工業振興計画の現状と課題などから整理）

<商 業>

- ①インターネットの普及に伴うデジタル化への対応
- ②既存商店街と大型商業施設の共存
- ③関係団体と連携した商業基盤の強化

<工 業>

- ①公的インキュベーション施設退去時の受皿不足
- ②工業系用途地域の未利用地不足
- ③販路拡大・人材不足・事業承継等への対応
- ④IT・IoTの活用と時代の変化への対応
- ⑤人同士が繋がる「場」の創出（オープンイノベーション等）

<観 光>

- ①歴史・文化、産業、自然等の観光資源の発掘・磨き上げ
- ②地域の観光資源の活用による観光客の増加
- ③観光消費額・域内調達率の増加と経済波及効果の拡大

<「目指すべき姿」のイメージ>

※第2回会議で御提示した「産業振興を通じて目指すまちの形①～⑧」や事業者アンケート・ヒアリング調査の結果等を踏まえて整理

- ・事業者は、時代の変化をチャンスと捉え、これまでのビジネスモデルや戦略を見直し、経済、社会、環境の持続可能性に配慮した経営を行っています。
- ・事業者、産業関係団体、金融機関、大学等、市民および草津市が連携し、互いの知識や経験を共有したオープンイノベーションにより、新たな価値を創造する産業や、「健康問題」「環境・エネルギー問題」など、社会課題の解決につながる産業が生まれるとともに、域内外の人材交流や雇用が創出されます。
- ・さまざまなライフスタイルや価値観を持つ市民一人ひとりが、社会課題を個人や地域の課題として受け止め、自らの働き方、暮らしのあり方を考え、行動し、多様な「健幸」を実現します。
- ・「住みやすさ」だけでなく「働きやすさ」も向上し、多様な人材が活躍できる環境が整っています。（「職（労）住近接」のまち）
- ・市民一人ひとりが自分の街への愛着や誇りを持ち、若い世代は自らが望む形で多様な働き方が選択できる「魅力」あふれるまちを次世代にもつなげます。

目指すべき姿

（案1）

持続可能な未来に向けて
新たな価値を生み出すまち 草津

（案2）

社会課題を解決し
新たな価値を生み出すまち 草津

（案3）

社会を変える、暮らしを変える
「魅力」あふれるまち 草津

戦略1（案）

経営基盤の強化支援

経営基盤を強くし、事業者の発展と経営の持続性につなげる。

戦略2（案）

イノベーションの創出支援

新たな価値を創造のため、積極的に取り組む事業者を支援する。

戦略3（案）

活力に満ちたまちの構築と承継

社会課題の解決を目指し、地域特性・資源を生かしたまちを創出する。

施策（案）

専門家等によるビジネスサポート体制の構築

事業承継の支援

DXの実現に向けたデジタル化の促進

戦略的な企業立地・集積の促進

人材確保・定着の支援

施策（案）

創業・第二創業の促進

スタートアップ企業等の集積促進

異業種間連携の促進

産学官金連携による実証実験の支援

施策（案）

ゼロカーボンシティの推進

多様な人材の活躍促進

アフターコロナを見据えた地域観光の活性化

地域特性を生かした産業の活性化